

平成27年度 学校評価 集計結果とまとめ



回答率	協議員	100%	91%
	保護者	65%	
	教職員	100%	
	CG	100%	

CG＝学校介護職員

学校評価に御協力くださり、誠にありがとうございました。
評価していただいた内容をまとめましたので、御覧ください。
多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重なご意見を多数いただきました。
学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

東京都立鹿本学園

平成27年度学校評価 集計結果とまとめ

- (1)4段階の評価をプラス評価(4、3)とマイナス評価(2、1)とし、未記入を加え表示した。
(2)評価記号について(4者合計)
①マイナス評価10%未満(◎) ②マイナス評価20%未満(○)
③マイナス評価25%未満(△) ④マイナス評価25%以上(▲)
⑤マイナス評価は少ないが、未記入が多く、プラス評価も高いとはいえない(□)

「教育課程の充実」

CG＝学校介護職員

Q1 学級指導は、適切に行うことができているか。満足できる指導がなされているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	96%	1%	2%	96%	1%	3%	94%	1%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 担任は、責任をもって学級を運営している。 細かい部分まで教えてくれるので安心。 子供が生き生きと学習している様子を見てうれしい。 いつも教材等工夫していただきありがたい。 楽しく学習できるよう、工夫していただいている。 個別面談で個別指導計画等の確認を行い日々の指導の様子が分かるので、満足している。 細かいところまで伝わらないところもあるので、面談等で説明してほしい。 新しい先生や経験をこれから積んでいく先生などを副担任が補い、どの学級も適切に学級運営が行えるようにしている。 担任としての経験が浅い方については、学級運営についての力が付くように研修や指導が必要。 パーティションで分ける教室も、確実にパーティションをして実施している。 教室のスペースが狭いので、できることが限られていると感じる。 知的代替の教育課程でも、検定本を使えるようにしてほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や個別面談等を通して、ねらいや様子等、きちんとお伝えできるように努めます。 教員間での連携を図り、教員がお互いに学級指導能力を向上できる研修システムの構築に努めます。 授業内容によって教室を移動するなど、より良い授業を展開できるように、努めます。 音楽や美術を除き、知的代替の教育課程で検定本を受給することはできませんが、プリントの活用や教材・教員の工夫によりお子様の課題に応じた指導を進めてまいりますので、ご安心ください。 						
今後の方針						・教員間の共通理解を深め、保護者との連携を図りながらより良い指導に努めていきます。						

Q2-1 生活単元学習の質的向上等、学習指導の充実に図ることができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	11%	0%				86%	7%	7%	88%	9%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の課題を把握し、導入・展開・まとめの流れがきちんとできていた。素晴らしい。 年間の見通し、単位時間の活動の位置付けがきちんとしている。それぞれの学習グループに合わせたカリキュラムを繰り返し行うことで、学習が進んできているところが良い。 生活単元学習の指導内容について、全職員に再度周知する必要がある。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						・引き続き、教職員が生活単元学習についての理解を深め、充実した学習を進めることができるように努めます。						

Q2-2 心理的な安定や身体への取り組み、コミュニケーション等、障害による困難さを改善する指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				95%	4%	2%				95%	4%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・お友達と活動することで、楽しくコミュニケーションが取れていると思う。 ・心身ともに不安定だったときには、改善策と一緒に考えきめ細かい指導をしてくださり、子供も安心して登校できた。 ・見通しがもてる指導をしてくださり、落ち着いて活動できている。 ・カードを使って要望を伝えられるようになった。 ・挨拶や報告が大きな声で言えていて、驚いた。 ・日々の積み重ねを大切にしているうえ、PT等、それぞれの能力を伸ばす授業が充実している。 ・先生方はとてもよく声を掛けてくださり、コミュニケーションを楽しみにしているようだ。 ・言葉でのコミュニケーションが難しい子供にも、言葉がけをしてから行動してほしい。わかっているはず。 						<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのお子様の課題に応じ、丁寧に接することができるように努めます。 						
今後の方針		・引き続き、自立活動の指導の充実に、努めます。										

Q3 言語獲得・文字獲得に至る基礎段階の学習を含めた「国語・算数・数学」の指導の充実を図れたか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%				88%	5%	7%	88%	3%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・詩の音読では、速さや声の大きさ、姿勢や口形などに注意しながら読ませ、楽しんでおりよかった。 ・担任が意識をもって臨んでいるかどうかわかりにくい。 ・絵本などを効果的に学習に使用することで、子供の興味が膨らみ、文字への関心が出ている。 ・外部専門家のアドバイスを指導に生かしている。 ・共有化が必要。 ・学年・学級で、共通した指導を行うことが必要。 ・アセスメントとの連携がスムーズになってきている。 ・学校図書館を活用し、読書推進を行った。 ・研修で得た技能を、授業に生かしてほしい。 ・子供たちの能力をさらに伸ばし、「できる自分」に気付かせるようにしてほしい。 ・重度重複学級の個別学習は、待たせないようにするためにも、取り出しが望ましい。 						<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいがはっきり伝わるよう、指導の工夫に努めます。 ・アセスメントで得た情報は、学級や学年、学習グループで共有し、日々の授業に生かしていきます。 ・個別学習については、既に次年度から取り入れる新たな形態を保護者及び教員に示したところです。指導を進めながら、必要な検証を行っていきます。 						
今後の方針		・個別学習の効果的な学習方法を探るとともに、引き続き「国語、算数・数学」の指導の充実に努めます。										

Q4 キャリア発達の視点を重視した、学習活動の展開を行うことができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	78%	11%	11%				80%	12%	7%	79%	12%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア発達の視点、系統性を学校全体で意図的に改善していく必要がある。 ・学校生活だけでなく、家庭生活や卒後の進路についても考えていく必要がある。 ・小学部段階でも、キャリア発達の視点を確認する必要がある。 ・校外での活動におけるマナー等、意識をもって指導にあたる必要がある。 ・中学部については、作業学習を通して様々な経験を積む場があって良い。 ・自立し、社会参加できる力をつけるために、社会人の成功体験や職場実習など積極的に展開し、様々な就労へ結び付けてほしい。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		・学校としての方向性を探り、まとめていくように努めます。										

Q5 知的障害教育部門中学部は、3年間を見通した教育課程の開発や学部内の系統性の確立を行うことができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□							44%	5%	51%	44%	5%	51%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 教育課程委員会を組織し、学部・部門間で様子を見ながら、検討しつつ準備にあたっている。 教科や行事の3カ年計画はまだできていない。 学部として、系統性のある学習内容を明確にする必要がある。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は3学年が揃うので、定期的に見直しを行いながら、中学部3年間の教育課程の開発に努めます。 						

・マイナス評価は5%ですが、未記入が51%と多くプラス評価を上回っており、他と同等に比較することができないため、評価を「□」としています。

「授業力の向上」

Q6 授業者支援会議で得たノウハウの蓄積や、日々の評価による改善策の共有と活用ができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□	67%	11%	22%				78%	7%	15%	72%	9%	19%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 経験豊富な方からアドバイスを聞いて良かった。 具体的な改善案を提示していただき、日々の授業で実践することができた。 次回の授業ですぐに活用したいアイデアを吸い上げるようになっているので、授業者が明確に意識することができる。 1人1回は参加できるようにするとよい。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 経験できていない人もいるため、未記入者が多いものと思われます。今後も引き続き、効果的な授業改善につなげるための授業者支援会議の内容が充実するよう、システムの確立に努めます。 						

・マイナス評価は9%ですが、未記入が19%と多く、プラス評価が80%を下回っていて、他と同等に比較することができないため、評価を「□」としています。

Q7 授業力向上研修等研修の成果を、日々の指導に活用できているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%				86%	5%	10%	87%	2%	10%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 様々なアドバイスを、その後の授業に役立てている様子はうかがえる。 子供を見る目や言葉かけに生かされた。 子供の視線の読み取りなど、研修を通して丁寧に行えるようになった。 保護者のニーズを、日々確認していくことが必要。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、日々の指導に活用することのできる、実践的な研修の計画・立案に努めます。 						

**Q8 日々の指導に関する説明を、授業ガイドや通知表を通し、しっかり伝えられているか。
授業ガイドや通知表を通し、日々の指導について理解できたか。**

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	78%	11%	11%	95%	2%	2%	87%	5%	8%	87%	6%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 通知表は大きく写真付きで、親以外の家族も日々の様子がよく分かり、楽しみにしている。 写真付きの通知表、大変良い。 そのまま手元においておけるのがありがたい(通知表) 授業ガイドは丁寧でよい。通知表は、もう少し具体的だとありがたい。 授業ガイドを見てその授業を見ると、ねらいが分かってとても良い。 通知表の内容を増やしてほしい。 通知表は子供向けなので、保護者向けには、もっと詳しい評価をもらえるとうありがたい。 通知表と個別指導計画を明確に分け、通知表は、成長のポイントを明示したことは素晴らしい。 読む人が分かりやすい表現や、伝え方ができるよう、試行錯誤することができた。 保護者より、「連絡帳でうかがっている内容や、自分の感じている内容と一致しているので安心している」と言われた。 給食も参観したい。 授業ガイドの残部が多く、配り方には工夫が必要。教室前に置いておいて、ほしい人だけ持っていく、という方式でもよいのでは、 授業ガイドは見えていない、という保護者も多い。もっと簡易な様式にしてもよいのでは。 通知表の写真や紙の質が去年より粗いので、見辛い 口頭での先生とのやり取りでは、子供の発達課題をよくとらえていると感じるが、個別指導計画は紋切型と感じる。 						<ul style="list-style-type: none"> 通知表は、お子様と見ながら内容を確認していただくものとなっています。保護者向けには個別指導計画を準備し、個別面談の際に確認していただくようにしています。ご活用ください。 事前に各家庭にお配りしているものの他、進学予定等の他の学部のものも見るができるよう、準備しています。必要な方は、ご覧ください。 個別指導計画の記述については、改めて工夫していくよう、教員に徹底していきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒に分かりやすい通知表、保護者の方々へ説明しやすい個別指導計画の記入に努め、授業の概要がしっかり伝えられるよう、これからも継続して取り組みます。 										

Q9 日々の授業について、指導環境の整備や教材の工夫は行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	93%	4%	3%	90%	5%	6%	90%	3%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に合った教材が工夫されている。 子供が飽きないように3・4段階に場面を変えて授業が行われ、工夫されている。 もう少し、大きな身体の動きがある内容があってもよいと感じる。 手作りの教材はありがたい。 先生も子供も楽しそうに授業を行っていて、うれしく思った。 がんばったらできた、と理解できる工夫をこれからもお願いしたい。 子供の特性に合わせた教室環境、素晴らしい。 もう一歩、本人の課題が見えてくるとさらに良い。 担当する教員によって、授業構成が同じになりやすいテーマは違って大まかな流れが同じ。 体育等で、もっと太陽を浴びることをしてもらいたい ICTの活用ができなかった。 集団活動はもう少し個々の課題に応じた工夫がほしい もう少し具体的に教えてもらいたい。 他に空いている教室があるように見えるが、障害の状態に合わせたグループで授業をしてもよいのでは。 教科書が、学級にいた時に比べ簡単なので、子供に合っているのか不安。 図書のは活用は、図書室が狭いので難しいところもある カーテンで仕切る教室は、棚や流しが1学級使用で、使いづらい。 						<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容については、個々の児童・生徒の課題に合った内容や形態を検討していきます。 今後もさらに、充実させて参ります。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、指導環境の整備や教材の充実に努めていきます。 										

Q10 読み聞かせや調べ学習、本の貸し出しやICTを活用した、多様な言語活動を展開できたか。
オープンライブラリーやICTの活用により、充実した教育活動が行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	81%	7%	12%	89%	8%	3%	86%	5%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 本をよく借りているのは、とても良い。 頻繁に、読み聞かせをしている。 「レッツ読書！」などがありよい。 デジ書は、子供が興味をもって見れた。 視覚支援として、常にICTを活用している。 色々な本を持ち帰ってくるのでありがたい。 沢山の種類の本があって良い。 オープンライブラリーの活用は、素晴らしい。 もっと外部へ情報発信してもらいたい。 本が、一定期間で並べ替えられているのが良い。 子供が、タブレット操作を一人でできるようになり、学習意欲が高まった。 小中でも、ICTをもっと活用してほしい。 弱視の子供もいるので、音のなる本や、触って楽しめる本が増えると嬉しい。 ICTの活用がないところは自信のなさが原因と考えるので、意識改革が必要。 タブレットの授業が増えるともっと良い。 どこにどんな本があるかわからないので、案内があるとよい。 本が苦手と思っているためか、全く借りてこない。一緒に選んで持ち帰ってほしい。 「レッツ読書！」の期間以外でも、カードがあるとよい。 教室内に、子供が手に取りやすい移動式書庫があるとよい。 						<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、ICTの活用方法についての研修を取り入れましたが、さらなる充実に努めます。 御意見を参考に、より良い方向を検討していきます。 						
今後の方針		引き続き、オープンライブラリーやICT等の充実に努めます。										

Q11 タブレット型端末を活用した調べ学習の充実や、プレゼンテーション能力等の向上及び授業展開の工夫を進められているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
△	67%	11%	22%				52%	37%	10%	59%	24%	16%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ipadやwifiで、調べ学習を行った内容をプレゼンテーションさせる授業を設定したり、進路についての調べ学習に活用したりすることができた。 タブレット端末を使用することから始める必要がある 十分な台数が確保されていない。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		学校所有のタブレットが導入され、活用するための環境を整備することができました。今後は、活用方法についての研修等の企画・実施に努めます。										

Q12 読書活動等の、活字に親しむための教育環境を整備することができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				83%	9%	9%	91%	4%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> オープンライブラリーが2階にもできたのはよかった 週に1回、図書室に行く活動を計画した。 N棟からは遠く、行きにくかった。 廊下の図書閲覧は、掌握が難しい。 						<ul style="list-style-type: none"> これから、N棟虹の部屋の充実にも努めます。 						
今後の方針		来年度も「レッツ読書！」や「読書マラソン」を計画し、活字に親しむための教育環境の充実に努めます。										

「生活指導体制の構築」

Q13-1 各部門の障害特性に応じた危機管理マニュアルの作成や合同防災訓練の実施ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%				93%	3%	4%	91%	2%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 保護者向け災害パンフレットはよくできている。 宿泊防災訓練も、やってみてはどうか。 合同で行った避難訓練の反省を踏まえ、S部門とN部門の体育館への出入り口を変え、改善できた。 1階が浸水した時の、医療的ケアの児童・生徒の避難場所が教室1つというのは、狭い気がする。 						<ul style="list-style-type: none"> 来年度は、N部門中学部1年生で宿泊防災訓練を行う方向で検討しています。 引き続き、より良い方法を検討していきます。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し、現実的な避難訓練の企画・実施に努めていきます。 						

Q13-2 日々の指導において、生活指導面や進路指導面について、満足できる指導がなされているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				90%	4%	5%				90%	4%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> N高がないので、情報量が少ない。不可能だと思うが、N高も、学園の一部に加わってほしい。 小学部低学年なので、実感がもてない。もう少し、生活面の意見をいただきたい。 生活指導面では、先のことを考えた指導をしていたらいい。 卒後の施設はどこも満所状態で不安だが、早目に予定を伝えていただいたり要望を聞いてくださったりして、保護者の仕事との両立に協力していただけた。 担任だけでなく、進路担当の先生からのアドバイスもいただけた。 						<ul style="list-style-type: none"> 都立白鷺特別支援学校との連携を強化できるよう、今後検討を進めて参ります。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 生活指導面については、保護者や外部専門家との連携を図りながら、より良い方向性を探っていきます。 進路指導面については、引き続き課題の共有と適切な情報の提供に努めます。 						

Q14-1 万一の事故を教訓とした、再発防止策の徹底を行えているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%				93%	3%	4%	91%	2%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 問題となった行動を見直したり、改善点を報告したりする場がきちんともたれている。 ヒヤリハットが丁寧に報告されるので、自分の指導を振り返る機会になる。 繰り返し取り組んでいくことが必要。 トイレ内に、柵のないベッドがある。注意が必要。 						<ul style="list-style-type: none"> 注意喚起の掲示や、学部内での周知を徹底するなど、全教職員が事故防止を常に意識できるようにしていきます。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事故が起きた際のインシデント・アクシデント報告や学年・学部単位で行う状況検証と部門で行う再発防止研修を通し、原因の確認や対応方法の共有化に努め、再発防止の徹底を図ります。 						

Q14-2 『学校支援シート』は、活用されているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				77%	11%	12%				77%	11%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 個別面談時に見返すのはよいと思う。現状を振り返りながら、シートを見て確認している。 なかなか見せる機会がなく、「なくても良い」と言われることがあった。 データベースと共有する情報として、活用している。 使い道が分からず、保管しているのが現状。 						<p>(今後の方針のとおりです。)</p>						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 『学校支援シート』を有効に活用できるよう、地域との連携を深め、より良い方向性を探っていきます。 						

Q15 飛び出しや迷子、怪我の防止等、安全な施設設備を整備できているか。施設面での防災対策は、充分だと思うか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	85%	5%	9%	95%	1%	4%	93%	2%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・新校舎になり、セキュリティはしっかりしている。 ・飛び出し防止設備やスロープのネット等、良く工夫されている。 ・たまたま学校にいた時に誤報が鳴ったが、教室内に先生が1人しかいなかった。2人以上いない時が多いのではないかと不安。いざ何かあった時に先生たちが動けるのか。先生たち同士で、連絡を密に取り合うようにしてほしい。 ・非常ボタンを誤って押さないようにする配慮が必要。 ・避難訓練を行っていることは理解しているが、鬼怒川のような大きな災害も想定して行ってほしい。 ・階段に手すりがあるため、避難するときに危ない。車いすの子供が、避難しづらいということはないか。 						<ul style="list-style-type: none"> ・教員同士で連携を図り、安全に過ごすことができるように努めます。ご安心ください。 ・様々な災害を想定した、避難訓練を計画しています。 						
今後の方針		・今後も継続して全校の確認を行い、安全の確保に努めます。										

Q16 スクールバスの安全発着体制や、一人通学の指導体制構築、通学路点検マップの充実等、通学環境を整備できているか。スクールバス登下校時の、安全確保はできているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				91%	3%	5%	96%	2%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・両部門同じ門から、5分差の運行で、おおむね時間どおりに運行することができている。 ・分掌担当者の連携が良い。 ・下校時のテイクサービスの引き取り待機場所の設定を早急に行うべき。 ・一人通学について、段階的なマニュアルが構築されている。 						<ul style="list-style-type: none"> ・利用者所属部門別の設定を行い、現在は大きな問題なく引き渡すことができきています。 						
今後の方針		・新校舎が完成してからの運行については定着し、安全に進めることができました。来年度の体制については引き続き確認を行い、安全に行うことができるよう検討していきます。										

「保健給食体制の構築」

Q17 2部門1拠点型に応じた、効率的・合理的な保健・緊急対応システムを確立できているか。保健室が一つになり、保健・緊急対応はスムーズに進められているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□	67%	0%	33%	80%	4%	16%	84%	7%	10%	77%	4%	20%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人数や環境の中で、できるだけ工夫が図られている。 ・以前に頭をぶつけてお世話になったが、対応がスムーズで、安心して学校生活を送ることができている。 ・いつかかかっても、子供のことを知ってくださっていたので安心した。 ・S校舎にあると遠い気がするが、体調不調で学校に伺った際、すぐに養護教諭が出てきてくださった。 ・対応はスムーズ。 ・少しのことでも保健室で対応してくださっているようなので、安心。 ・N棟にも休める場所があることを知り、安心した。 ・常勤・非常勤を含めた看護師の人数が少ない中対応しているの、人数を増やすことはできないか。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		・養護教諭3名で両部門をカバーし合い、引き続き保健・緊急対応がスムーズに行えるように努めます。										

・マイナス評価は4%ですが、未記入が20%と多く、プラス評価が80%を下回っていて、他と同等に比較することができないため、評価を「□」としています。

Q18 各種保健行事は、効率的に進められたか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							93%	1%	6%	93%	1%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 保健室前の表示など、分かりやすかった。 未検診の子供について連絡していただき、スムーズに行うことができた。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		・さらにスムーズに進めることができるよう、検討を進めます。										

Q19 適切なアレルギー対応を行うための教職員の資質向上、及び校内体制の堅持はなされたか。
アレルギー疾患のある児童・生徒への学校給食における対応や医療的ケアは、適切に行われたか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	78%	0%	22%	76%	1%	23%	91%	3%	6%	82%	1%	17%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> アレルギーやエピペンに関する研修が毎年行われているのはよい。スクールバス乗務員対象の研修が行えたのもよかった。 栄養士さんの、アレルギー対応に感謝。 給食については、ダブルチェックで安全に留意することができた。 システムはできているが、担当者にならないとわからないこともあり、共有しにくい。 アレルギーがないので、よく分からない。 毎日対応していただき、安心している。 校外での外食学習でのアレルギーチェック体制の整備が必要。 保健給食部で、アレルギー対策マニュアルを作成した方がよい。 アレルギーがあってもお弁当の人もいるので、できれば個別対応をしていただけるとよい。 校外での活動における、意識付けについては徹底していく必要がある。 NS共通のマニュアル作りが必要。 						<ul style="list-style-type: none"> 年度途中より、試行を始めました。より良い方向性を検討していきます。 						
今後の方針		・引き続き、定期的な研修を通して全校的に意識を高めるとともに、調理実習や校外でのチェック体制を含むダブルチェック体制の定着を図っていきます。										

Q20 都方針を踏まえた、安心・安全な医療的ケア制度の啓発と、医療的ケア体制の堅持はなされたか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□	67%	0%	33%				77%	4%	19%	72%	2%	26%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 全校連絡会や学部会での報告、長期休業中の研修など、努力がうかがえる。 医療的ケアがあると訪問学級になってしまうので、親の負担を考えると学校で対応していくべきでは。 非常勤の看護師さんの人数が不足している。看護学校等に卒業後の職場として、呼び掛けられないか。 N部門向けに、医療的ケアについての基本的な内容の研修があるとよい。 医療的ケアの引継ぎを、もっとスムーズに行えるように体制を整えていただきたい。 看護師さんが不足しているので、補充をお願いしたい 看護師さんの吸引の技術にばらつきがあると思う。しっかり研修をしてほしい。 安全第一は分かるが、必要以上に神経質になりすぎている。 						<ul style="list-style-type: none"> 身体状況によっては、医療的ケアがあっても訪問学級になるとは限りません。ただし医療的ケアについては、医者の常駐していない学校としては、できる対応とできないものがあります。安全に、継続した学校生活を送ることができるよう、保護者の皆様には、御協力をいただくこともあるかもしれません。どうぞ、御理解と御協力をお願いいたします。 学部が変わる際の引継ぎでは、学部内の医療的ケア体制が整うまで、付添いをお願いすることになりますが、安心・安全な学校生活を送ることができるよう、御協力、よろしく申し上げます。 学校生活の中では、安心・安全を第一に指導を進めています。御理解・御協力を、よろしく申し上げます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 都方針を踏まえ、今後も安心・安全に医療的ケアを進めることができるよう、校内体制を整えます。 										

・マイナス評価は2%ですが、未記入が26%と多く、プラス評価が80%を下回っていて、他と同等に比較することができないため、評価を「□」としています。

Q21 学校介護職員を人材活用した、医療的ケア体制の充実は図れたか。

[S部門の保護者のみ]学校介護職員による医療的ケアの実施は進んでいると思うか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□	67%	0%	33%	51%	20%	29%	70%	11%	18%	63%	11%	27%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 2学期から、サブだけでなく医療的ケア実施について、学校介護職員が行い始めることができている。 学校介護職員が医療的ケアを行っているところはまだ見ていない。 学校介護職員の医療的ケアの様子など、お便りで知らせていただくとよい。 全く進んでいないわけではないが、せっかく研修を受けた学校介護職員の方が辞めてしまうと意味がないので、負担が大きい。 研修を受けても、医療的ケアの実施を行っている学校介護職員はわずかである。 学校介護職員による医療的ケアの実施に、期待している。 学校介護職員による医療的ケアで、許可が出ている範囲を教えてください。 医療的ケアについては、学校介護職員はもちろん、看護師にも行ってもらえていない人もいる状況なので、当然進んでいるとは思えない。 学校介護職員の入れ替えもあるので、まだまだ教員の負担が大きいように思う。 						<ul style="list-style-type: none"> 学校の実態を把握していただく方法を、検討していきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 学校介護職員による医療的ケアは、まだ一部の方に限られてはいますが今年度よりスタートしました。現在、4名が実施者です。 実際にスタートしての課題等も踏まえ、引き続き、方向性を探っていきます。 										

・マイナス評価は11%ですが、未記入が27%と多く、プラス評価が70%を下回っていて、他と同等に比較することができないため、評価を「□」としています。

Q22 安全で美味しい給食の提供と、楽しい給食タイムの工夫が行えているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	67%	11%	22%	88%	4%	8%	92%	4%	4%	82%	6%	11%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> S部門で提供している形態食を、N部門でも活用するなど、併置校の特色が出ていてとても良い。 学年みんなで楽しく食べる、という雰囲気作りができていて良い。 試食会で調理の様子を見たが、細かなチェックなど、安全に配慮されていることが分かり、安心した。 きめ細やかな形態食の対応をしていただくことができ、大変ありがたい。形態食が素晴らしい。 毎日、子供が献立を楽しみにしている。 好き嫌いが減ってきた。家で食べないものも、完食している。 栄養士さんが毎日様子を見に来てくれるのが良い。 口唇訓練等も水分補給や給食前に取り組めた。 食育について、積極的に取り組んでほしい。 食事中、静かすぎる。音楽を流してはいけないのか。 後期食の味付けは美味しいが、中期食は薄いように感じた。 安全だとは思いますが、もっとおいしいランチを提供していただきたい。 見た目や香りがよいといいのだが。 給食準備中の待ち時間など、子供を集めて本を読むなど、何とかしてもらいたい。 楽しいだけでなく、安心してゆっくり食べられる環境を整えてほしい。急な物音など、落ち着けず好きになれない様子がうかがえる。 給食を食べる時間がもう少し長くなればよい。 牛乳については、毎日の摂取は疑問。豆乳や果汁も取り入れてほしい。 見る機会がないので、動画等、学期に1回でも見せていただくとありがたい。 食材を混ぜたメニューが多く、自閉症の子供は、苦手な人が多かった。 Nのランチルームの活用についても考えていきたい 						<p>(今後の方針のとおりです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開校時に十分検討し、低温殺菌牛乳を続けることに決め、現在に至っています。果汁等につきましては、今後検討していきます。 移動教室前の事前学習等、N棟食堂の活用も検討していきます。 						
分析・方針						<ul style="list-style-type: none"> N部門への形態食の活用等、少しずつ併置化のメリットを生かした新たな活動にも取り組んできました。引き続き、安全で美味しい給食の提供について、環境の設定も含め、より良い方向性を検討していきます。 						

Q23 摂食評価や研修を通し、摂食機能の向上を図ることができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	78%	0%	22%				88%	5%	7%	83%	2%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 口唇訓練を取り入れている。 摂食評価で具体的なアドバイスをいただいた。 夏季の研修は、とても分かりやすかった。 研修を、年度初めに行うことは良い。 摂食評価で、摂食状況の向上が見られた。 						<p>(今後の方針のとおりです。)</p>						
分析・方針						<ul style="list-style-type: none"> 来年度も、給食開始前や移動教室前等、定期的に摂食評価や研修を設定し、給食時の摂食指導に生かせるように計画していきます。 						

「専門性ある人材の活用」

Q24 S部門の教員と学校介護職員の協働体制の充実を図られているか。

[S部門の保護者のみ]教員と学校介護職員とは、連携して日常の教務にあたっていると思うか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	78%	14%	8%	75%	6%	18%	84%	7%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 学校介護職員も授業に溶け込んでいると思われる。 両者の協働体制が機能していると感じた。 学校介護職員導入当初より、それぞれの仕事内容を把握し合っていると思う。 いつもの様子との変化もよく気付き、しっかり見ていただいている。 わからないことは丁寧に教えていただけるので、何でも聞きやすい。 慣れた人がずっといてくれるとよい。 男子がら入るが、男性介護職員がいないので、引継ぎがきちんとされているのか不安。 人の入れ替わりが多く、ステップアップが難しい。せめて、摂食指導や医療的ケアに関する研修については、教員と学校介護職員と一緒に受ける機会があるとよい。 						<ul style="list-style-type: none"> 学年間、学部間の連携も密に図り、丁寧に引き継ぎが行えるように努めます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、授業や介護面での確認事項や課題を共有できるよう、徹底していきます。 										

Q25 学校介護職員は、児童・生徒の状況を把握し、適切に対応できているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	82%	10%	8%	82%	3%	15%	88%	4%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 2年目の方は子供のことをよく理解し、介助の仕方なども適切である。 昨年度よりも、学習活動への働きかけはスムーズだと感じる。 学校介護職員のフットワークが軽く、動く子・車いすの子、それぞれの状態に応じて対応できている。 言葉遣いが気になる人がいる。 以前の経歴により、実態把握などに力量の差が出るのはやむを得ないが、話し合いや研修などで埋められるようにしていくことが大切。 子供は、学校介護職員の個人差に影響を受けている。先生方は、任せきりにせず、様子を見てほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> 人権を大切にされた教育を、徹底して参ります。 教員と学校介護職員間の日々の打ち合わせを密に行い、指導方針や指導の仕方について、共通理解が図れるように努めます。 学校介護職員と教員が、しっかり連携を図っていくように努めます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 2年目となり、業務内容と役割の理解は定着しました。今後も引き続き、情報の共有に努め、担当学部の児童・生徒に関する実態把握が広く進められるようにしていきます。 										

Q26 外部専門家や教育支援員等との協働体制の確立により、授業者支援や保護者支援を充実できたか。
外部専門家(つばき研究所、OT、PT、ST等)や発達臨床心理士、や教育支援員(たすく)のアドバイスは有効だったか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	78%	7%	15%	86%	5%	10%	84%	4%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 保護者参観が可能なので理解してもらいやすくなった 外部専門家のアセスメントは、子供の実態把握、日々の指導に役立っている。 専門的な意見を聞くことができありがたい。 個別の参観ではピンポイントのアドバイスになりがちなので、保護者向外部専門家による研修はよかった。 見学ができ、大変良かった。カンファレンスに参加でき、とても勉強になった。 家で困っていることにもアドバイスいただき、改善できた。毎年やってほしい。 異なる意見が出され、どうしたらよいかわからない。 グループアセスを増やすなどの工夫が必要。 外部専門家の支援時間が短く、受けづらい。 継続的な支援が受けられない。 集団指導時における支援方法が知りたい。 宮城先生の指導は、少し厳しいと思う。 S部門にも、自閉症対応のアドバイスがほしい。 親は何のためにその場にいるのか、もう少し考えて話してほしい。親の意見も、聞いてほしい。 受けるのならば、早目に予定を知らせてほしい。 外部専門家は先生のためのものという感じがする。保護者にもフィードバックしてほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> 様々な御意見をありがとうございました。学校としてどうあるべきか御意見を参考に、検討していきます。 担任を通して、遠慮なくご相談ください。 早目の報告に努めます。 外部専門家は、教員の専門性を高めるために都が導入しているものです。保護者の方の相談は、担任を通じて御相談下さい。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 日々の指導に効果的に活かすための、より良いアセスメントの進め方について、検討を進めていきます。 										

Q27 教材作成アドバイザーを活用する等、教材作成を活発に進められているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	89%	0%	11%				67%	24%	9%	78%	12%	10%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> スイッチ教材など、専門的な知識が必要な教材を作っていたことができ、大変ありがたい。 オーダーに対応していただけることがありがたい。 教材作成に努めた。 訪問担当は、学校にいないことが少ないので、利用できないことが多い。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 今後も授業につなげることができるよう、引き続きお願いしていきます。 										

「学校組織の確立と教職員の行動指針」

Q28 指導に専念できる、業務システムの効率化、合理化が図られたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
▲	67%	22%	11%				65%	27%	8%	66%	25%	10%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 特に準ずる教育の担当教員は、授業準備の負担が大きすぎる。 3人の訪問を担当していると効率的、合理的にとっても難しい。 学校介護職員の配置により、業務量が増え、効率は低下している。 事務的な業務が多く、もっとも大切な教材研究の時間が確保できない。 分掌だけでなく、保護者と直接かかわる学年に、主任教諭が配置されると、学年運営がスムーズになるのではないか。 部会の進め方は要検討。学年会等に変えられるものもある。 仕事の分掌が特定の人に偏っている。 1人担任の分掌()つきを、もっと明確にしてほしい 主担任と副担任の仕事分担の煩雑さが課題。主担任の負担が多い。主担任は授業中心、副担任は分掌中心が良いのでは。 主幹が仕事内容のスリム化を図り、適切に役割分担をすることが必要。 SNの仕事のやり方を、そろえていけるとよい。 夜遅くまで職場に残られている方が見受けられる。 						<ul style="list-style-type: none"> 学校としても、全学年に主任教諭を配置することができるよう、教育委員会に、継続的にお願いしていきます。 						
今後の方針						・引き続き、課題の解決と効果的な業務システムの確立に向けて、検討を進めていきます。						

Q29 個人端末等を活用した、的確で合理的・効率的な業務遂行ができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	78%	0%	22%				88%	9%	3%	83%	5%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> パソコンが分からない人にとっては、1つわからないと先にすすめない。長期休業中などに、研修を行ってほしい。 ICTネットワークとTAIMSの行き来ができていないことは煩雑。操作に時間がかかってしまう。 成績管理サーバーを開いていると、あらゆるファイルを見ることができないのが効率的でない。 学校サーバーの破損、分掌情報等の誤削除等、安心して作業できない。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						・全校的なサーバーの整理を行いました。今後さらに、情報を効率的に活用できる個人端末の整理に努めます。						

Q30 体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んだか。
教職員に関して、体罰や不適切な指導をなくすための取り組みが、十分に行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	89%	3%	7%	95%	4%	2%	95%	2%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> いつも落ち着いて指導していただいている。 不適切な指導はありません。子供の成長は、先生のおかげだと思う。 言葉かけや態度もとても良い。 子供の呼び方を意識するようにした(年齢相応)。 第三者からは見えづらく、判断が難しい問題。 子供を突き飛ばすように押しているのを見てしまった感じのよいものではなかった。 見回りが必要。 授業の様子を、管理職や主幹に見てもらいたい。 重度重複学級の指導で、ジェスチャーでは伝わりにくい時、やや強引に手を取ってしまうことがある。 他の教員に対して疑問に思うことがあっても、なかなか意見しづらい環境。 名前の呼び捨ては気になる。 						<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重については研修を行い、接し方などに留意していますが、さらに徹底していきます。 						
今後の方針		・教職員の対応について記入された方は、副校長までお知らせください。すぐに対応いたします。										

Q31 クリーンデスクを含む個人情報保護等、人権尊重の推進は行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	78%	11%	11%	/	/	/	90%	9%	1%	84%	10%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 教員の、個人情報保護に対する意識は高い。 訪問時の、通知表等の持ち出しにとっても気を使った。 書類整理を定期的に行った。 訪問室がないので、教材等を机の周りに置かざるを得ない。 クリーンデスクが徹底されていない机が多い。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		・継続して、クリーンデスク及び個人情報の保護の徹底を図ります。										

Q32 鹿本クオリティファイルの遵守と、学園教職員として誇りある行動実践は行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	78%	0%	22%	/	/	/	93%	1%	6%	85%	1%	14%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 適切に行えた。 鹿本クオリティファイルを学期に一回は確認し、電話の応答や普段の言葉遣いの改善を図る。 						(今後方針のとおりです。)						
今後の方針		・引き続き、児童・生徒が鹿本学園で学んで良かったと誇りをもてるように努めます。										

Q33 免許更新等に関する校外の研究授業・教科研修への参加を通し、教科等の指導力を向上させることができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	/	/	/	79%	12%	9%	84%	6%	10%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 研修に参加し、視野を広げることができた。 研究授業や外部研修の報告を、保護者の目に触れるような取り組みがほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> 教材展のポスターや、学びの虹への研修受講者の声の掲載等行っているところですが、今後さらに工夫していきます。 						
今後の方針		・引き続き、免許所持教科に関する校外の研究授業・教科研修への参加を促し、教科等の指導力向上に努めます。										

「魅力ある学園教育・学校環境の創出」

Q34 案内や電話の応答、服装等、学園クオリティの基盤となる教職員の接遇マナーは向上できているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	93%	5%	2%	93%	4%	2%	95%	3%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の挨拶は、いつもさわやかである。 ・廊下ですれ違った時にいつも大きな声であいさつをしてくださり、気持ちが良い。 ・電話の対応はよいと思う。 ・以前に比べ、対応がよくなった。 ・子供が学校へ連絡した時も、返答しやすく対応していただき、うれしく思う。 ・接遇マナーは、個々でスキルの差があると思う。 ・連絡を入れたいが、なかなかつながらない。急いでいるときは大変。留守電が使えるとよい。 ・欠席連絡の際、忙しいのは分かるが、電話の対応が良くない。 ・欠席連絡が、担任に伝わっていないことがあった。 ・良い教職員が多だけに、悪いが目立つ。人によって、感じが悪い。 ・大規模校になり、先生を探すのに時間がかかっているように思う。 ・電話の対応は、限られた人が行っている。 ・先生も忙しいとは思いますが、子供の前ではスマイルで、元気でいてほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> ・電話回線の増設を、東京都の手順ののっとってお願いしていきます。 ・皆様に気持ち良く学校生活を過ごしていただけるよう、引き続き、接遇マナーの向上に努めていきます。 						
今後の方針		・継続して、学園クオリティをあげる、教職員の接遇マナーの向上に努めます。										

Q35 校舎(S・N棟)内で、統一感のある案内表示・教室表示の全校的整備は進められたか。案内表示は分かりやすいか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	85%	7%	8%	89%	6%	6%	91%	4%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカムボードを設置し、来客者へのおもてなしが感じられる。気持ちが和む。 ・わかりやすく、見やすい位置に表示されている。 ・体育館への床の表示は分かりやすい。 ・学校で迷子になることが減った。 ・シンプルでわかりやすい。 ・多目的室が分かりにくかった。 ・学部・学年等の表示を、もう少ししてもよいのではないかと。あまり学校に来ない人は、まだ迷うようだ。 ・シンボルを統一する意味は全くない。 ・統一感があり見た目は美しいが、掲示の量が多く、情報過多で見にくいという意見を聞く機会が多い。 ・配色などの工夫が必要。 ・ドアの上の鍵は、分かりづらい。 						<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた様々な御意見を参考にし、さらに良い方向性を検討していきます。 ・諸事情により、分からないようにしているところもありますので、保護者への連絡等は明確に行うようにします。 						
今後の方針		・さらにわかりやすい、表示の検討を行います。										

Q36 掲示物の精選や花壇の美化等、学校施設の美化が行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	93%	4%	3%	92%	4%	4%	91%	2%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 様々な掲示物が工夫されていて、訪れた者に教育内容やもてなしの気持ちが伝わってくる。 校舎内は、いつもきれいで気持ちがよい。 花壇がとてもきれいだった。 掲示物で知りえる情報もある。 子供たちも、掃除をがんばっている。 新校舎できれいに見えるのは当然だが、掲示物の工夫もされていて、さらにきれいに感じる。 作業班として、次年度はもう少し美化のウェイトを増やしたい。 校舎の見えにくい裏側の部分に、ゴミに近いものが乱雑に配置されている。 来客者トイレは、ほこりや髪の毛がたくさん落ちていることが多い。来客者トイレは汚いと感じることがある。 美化に特化して、子供たちの作品をもっと展示してもよいと思う。 ポスター掲示期間の印を押すことを徹底する。 学級前の掲示物の工夫を行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 廃棄までの廃棄物品の整理にも努めます。 業者に伝えます。気になる時には、お知らせください。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 掲示物や花壇、学校施設の整備は、引き続き徹底していきます。 										

Q37 ピクチャーフロムナードの常設と活用、職員室の環境改善等、学校環境改善は進められているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	86%	4%	10%	86%	7%	7%	91%	4%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ピクチャーフロムナードは、季節感を感じることができるし、子供たちの作品が素晴らしい。 ピクチャーフロムナードを見る機会を設ける。 職員の人数増に対し、できるだけ快適に執務できるようなレイアウトを考えている。 子供たちの作品が常設されているのは華やかでよい。 廊下の車いすの置き方の整備を徹底する。 職員室の換気は改善できないか。息苦しい。 ピクチャーフロムナードは、季節によって装飾が変わったが、飾ってある絵が変わっていない。 						<ul style="list-style-type: none"> S棟廊下の車いすの置き方は、枠内に収めるよう、整備を徹底していきます。 平面作品の交換を、定期的に行うよう計画します。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ピクチャーフロムナードの作品は、引き続き、全校で定期的に交換するよう計画していきます。 継続して、学校環境の改善に努めます。 										

Q38 学校のホームページ等を活用した、保護者向け学校外活動等の情報発信や地域向け情報発信は行えているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	76%	10%	15%	83%	7%	10%	86%	6%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ホームページはきれいで見やすい。 とてもよくできている。 経営報告も、色刷りで読みやすい。 新聞等で紹介された記事が、ホームページで紹介されているのはよい。 SNに関係なく、どのような活動を行っているのか、情報を得られる。 学校評価の総括(グラフ)なども載せるとよい。 ホームページで、行事の様子などとよい。 学校日記のようなものがあると、他部門他学部の様子が分かって良いと思う。 あまり意識してみたことがなかった。 宿泊行事などはまちcomiで様子が分かるが、ホームページにも写真載せて、子供たちの学校生活を発信してほしい。 校外学習などの写真の販売をしてほしい。 写真がなくなったので、見ようという気がなくなる。 写真が載せられなくても、もう少し活気ある校風を出してもよいのでは。 もう少し、学校生活の部分を充実させられるとよい。 学校のホームページから、学校へ提出する用紙がダウンロードできるようなサービスがあるとよい。 ホームページから、連絡帳用紙やSB連絡票をダウンロードできるようにしてほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> 掲載内容については、御意見を参考に、引き続き検討を進めます。 個人情報保護の観点から、ホームページ上に写真を掲載することは難しくなっています。明るいレイアウトでの作成に努めます。 写真配信につきましては、個人情報保護を最優先とし、慎重な対応を行っていますので、御理解ください。 現在、欠食届や登校許可証はダウンロードできるようになっています。ご活用ください。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の様子を折に触れて掲載できるよう、引き続き努力していきます。 										

Q39 高等部進学及び特別支援学校教育終了後の社会参加を見通した進路学習、及び保護者支援は行えているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□	89%	0%	11%	78%	9%	13%	68%	12%	20%	78%	7%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 進路体験学習で保護者が見通しをもつことができた 本人、保護者、担任と連携を図り、希望通りの進路決定を行うことができた。 進路情報や講習会があるので、見通しを立てやすい。 色々な情報をいただき、視野を広げることができた。 保護者に対する勉強会を、今後も続けてほしい。 中学部段階で、進路指導の内容を明確にできるとよい もう少し、高等部の現状や学校教育終了後の社会参加の状況を教えてもらいたい。保護者の話も聞きたい。 肢体不自由教育部門の進路指導上の課題は何なのか、目標と合わせて知りたい。 それぞれの部門に合わせた進路情報を、当該学年ではなく、保護者支援としてまとめたものがあれば、進路に利用できるのではないかな。 先輩保護者の声が聞きたい。 障害児・者親の会の情報がない。 						<ul style="list-style-type: none"> 御要望に応えられるよう、情報の収集に努めます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、保護者の皆様の役に立つ、勉強会の計画や情報提供に努めます。 										

・マイナス評価は7%ですが、未記入が15%と多く、プラス評価が80%を下回っていて、他と同等に比較することができないため、評価を「□」としています。

Q40 読書推進月間や学園カフェ等、学園内の交流を通し、学園の一体感や併置化のメリットを生み出す教育活動を進められているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	77%	11%	12%	90%	3%	8%	89%	5%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 読書カード、コンサート、形態食の活用など、併置化のメリットを生み出す活動は、素晴らしい。SN合同でカフェを行っているところが良い。 学園の一体感は感じることができている。 図書室やカフェでSNと一緒に過ごすことは、卒業後を見据えた学習にもなっていると思う。自然に交流できるのが良い。 肢知併置でその専門性をどう生かすのか、事例を示してほしい。 SNの交流があまり感じられない。残念。もっと交流してほしい。 行事や校舎が別なので、学校に行かないとわからないところがある。 						<ul style="list-style-type: none"> 交流の在り方については、今後も検討を進めて参ります。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 来年度はN部門中学部3年生ができ、全学年が揃います。行事だけでなく、日々の活動における部門間の交流の在り方等、さらに充実した教育活動の確立に向け、検討していきます。 										

Q41 職務内容の中で、今年度「私これをやった」と誇れるものは何か。(上から多い順。同じ行のものはほぼ同数。)

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)
<ul style="list-style-type: none"> 分掌関係の仕事 学習指導 ・ 保護者との連携 学級運営 ・ 学年運営 ・ 個別指導 ・ 教材作成 ・ 授業力向上 ・ 全国公開研究会に向けた研究 ICTとAT、AACを活用した指導 ・ 準ずる教育課程の学習指導 ・ 教員間の連携 ・ 日常生活の指導 施設環境の整備 ・ 摂食指導 ・ 学部運営 ・ 宿泊行事の企画、運営 ・ 子供の実態把握と指導 進路指導 ・ 運動会(スポーツフェスタ)の企画、運営 ・ 社会見学企画、運営 ・ 特別支援コーディネーター 副籍業務 ・ 虹輝祭の企画、運営 ・ 関係諸機関との連携 ・ 読書環境の充実 ・ 若手教員、学校介護職員へのOJT 交流教育 ・ 研究発表 ・ 学習グループ運営 ・ 不応行動への対応 ・ ピクチャープロムナード ジャンボひまわりの栽培 ・ 訪問教育 ・ 系統性ある生活単元学習の計画、実施 ・ 自立活動 ・ 部活動 ・ 免許の取得 教師道場 ・ 登校が難しい子供の指導 ・ 作業学習

Q42 自由意見

【S部門保護者】

<ul style="list-style-type: none"> 副籍制度については、事前に詳しい話し合いがなくメリットが分からなかった。 水元小合学園との交流を通し、鹿本学園のアップグレードを望む。 帰宅後、授業の様子や行事の様子など、楽しく話してくれるので、安心している。 虹輝祭のスヌーズレンは大変素晴らしかった。是非常設にして、授業などでも活用できるようにしてほしい。 先生方に、子供の様子を丁寧に見ていただき、大変安心している。 最終的に、鹿本学園(旧江戸川特別支援学校)を選んで良かったと思う学校生活だった。 両部門、お互いに校舎内の行き来はあるのだろうか。是非、実現してほしい。お互いの刺激になって良いと思う。 体調不良等で急に欠席になったとき、バス会社との連絡がうまくいかないことがある。会社から乗務員に連絡がいていなかったり。そのあたりの改善をお願いしたい。 学部間の交流が、もっとあるとよい。学年単位などでも。 毎年担任が変わることのないようにしてほしい。 医療的ケアのある子供の、スクールバス乗車の検討が進むことを期待している。 もっと外に出る活動を取り入れてほしい。身体を丈夫にするためにも、日を浴びることは必要。 校外に出た時の食事は事故が起きやすいので、引率の教員やCGの充実をお願いしたい。 学部に活気がないと感じる。 給食の準備中の慌たさが気になる。 学部が変わり、先生やCGの手が足りないように感じる。 教科書の使用がされていない。 特別支援学校に入ったのに、介助の手が足りないと言われた時にびっくりした。もっと歩くことを増やしてほしい。 学校に頻繁に行ける親とそうでない親がいる。同じように接していただいているとは思いますが、区別のないようにお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 副籍制度についての説明を面談等を通してきちんと行うように留意します。 大変うれしく思います。 バス会社へ、伝えます。 現在東京都では、スクールバス乗車中に医療的ケアを必要とする可能性のある方については、スクールバスへの乗車が認められていませんので、御理解よろしくお願ひいたします。 対応に差がつくことはありませんので、ご安心ください。また学校に来られない方にも同じように情報が共有できるよう、学びの虹や虹の橋に詳しく掲載しますので、御覧ください。
---	---

【N部門保護者】

<ul style="list-style-type: none"> • 先生には、いろいろ教えていただき感謝している。 • 先生にアドバイスをいただき、1人でできることが増えた。 • バスがかっこよく、「障害」という文字も書いていないので、近所の人に見られても気にならない。ありがたいこと。 • 子供がにこにこ嫌がらずに学校に行くので楽しいのだと思う。よろしくお願いします。 • 学校と保護者が連携して、良い環境である。 • より良い指導を行うために努力を惜しまず、大変ありがたい。 • Sで取り組まれていることが、Nでもやってくればよいのに、と思うことがある。OT、PT等。 • 宿泊行事では、夕方にまちcomiメールで様子を知らせていただいているが、両部門合わせると、年間10回位になる。対象でない保護者にとっては夕方のメールは負担。自分の子供の所属する部門でないで行事の予定は分からないので、緊急のメールかと思いきや忙し在家事の合間に慌てて見ても、のほほんとした内容だと、正直イライラする。せめて部門内だけにならないか。希望としては、対象学年だけでよい。 • バスコースの異なる遅れの連絡は知らない。 • 働いている親は、学校に来ることができない。このままだと、学校との連携が薄くなってしまわないかと心配。 • 植物を育てることを、学年の中の1クラスのみ行わないところがあった。このような活動は、学年全体で行うべきではないか。 • もっと、勉強に力を入れてほしい。国算の時間の読み聞かせや手遊びはがっかりする。 • 夏季休業中の宿題など、先生にプリントをつくってもらうことはできないか。勉強したければワークを買ってほしいと言われた。 • 絵日記とは別に、工作でもよいから簡単な宿題を出してほしい。文字の書けない子は、親の宿題になってしまうので。 • 肢知併置なのだから、給食の食形態やりハビリなども、必要な生徒には部門関係なく受けられるようになればよいと思う。 • 子供が学校で何をしたかうまくしゃべれない分、もう少し頻りに子どもの様子を見られる機会があるとよい。衣類の着脱やトイレについても、どのような支援で行っているのか教えてほしい。 • 障害と、クラス分けがあていない。 • バスの中の情報が無いのが心配。他のお母さんから、「泣いてたよ」と言われたりする。 • 精神科の校医を置いてほしい。医師に相談できる体制をつくってほしい。 <ul style="list-style-type: none"> • バスの試乗は小1の時だけだが、コースが変わった時は試乗させてほしい。緊急時に引取りに行けるか不安。 • 予定表を見て準備するのは子供だが、一番不安になる新年度になった時の予定がなかった。学校便りを見てほしいとのことだったが、安心できる材料が予定表の確認なので来年度は準備してほしい。運動会の延期の時も保護者向けには変更版が配られたが、子供にはなかった。 • プリントが多すぎる。学校の他にもたくさんの資料が来るので、確認するのが大変。 • 毎年担任も副担任も変わり、そのたびに落ち着かず、パニックになる。バランスの良いクラス分けをお願いします。 • 1年生が多いSBには、乗務員の他に、指導できる立場の大人が1名同乗すべき。 • 子供同士でできた怪我、傷は、その程度に関わらず、両方の親に知らせるべき。家庭での指導につなげるために。 • 江戸川区内で、鹿本学園の名前があまり知られていないように思う。 • SBバス停についての意見を伝えているが、変更できないとのこと。事前にしっかり伝えてほしい。わかっていれば、学校側の一方的な押し付けを受けなかった。 • 特別支援学校は毎年アセスメントと評価が受けられると聞いていたが、鹿本は違ったのでがっかりした。 • 国算(数)など、一部の授業で縦割り編制があってもよいのでは。 • 運動には、これまで以上に力を入れてほしい。 • 個別授業がなくなるのはショック。 • 個別学習より、学力が落ちないようにしてほしい。 • 標準服と、ジャージの、小さいサイズも準備してほしい。これより小さいサイズはないと言われ、対応も悪かった。 • N小運動会には給食があるのに、N中スポーツフェスタには給食は出ないのか。 • 移動教室から帰ってきたとき、SN棟の通路の高さがバスより低く、通れないことが分かった。有事があった時が心配。スクールバスは大丈夫なのか知りたい。 • 担任と補助教員がうまくいっていない。お互い気を遣っている。補助教員が気の利かない方だと担任の負担が大きい。連絡帳に書いたことも1・2度は平気でスルーする補助教員の方は、ベテランの方をつけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • より良い方向性について検討を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> • 今年度は、試行としてN部門特別食へのS部門形態食の活用を取り入れていきます。必要に応じて、摂食評価を行い、活用できるようにしていきます。 • 必要に応じて、専門家による臨床発達相談(仮称)を行えるよう、準備しています。 <ul style="list-style-type: none"> • 在籍児童生徒数の関係から、新入生に絞っていることを、御理解ください。 <ul style="list-style-type: none"> • そのようにしていきます。 <ul style="list-style-type: none"> • 太田のステージは、毎年確認しています。個別指導計画等で、きちんとお伝えできるように努めます。 • 個別の授業形態は変わりますが、個別授業がなくなることはありませんので御安心ください。 • 標準服やジャージについては、業者に継続して伝えていきます。
--	--